



毎日メーターをチエツクしよう

人間活動の拡大で、二酸化炭素などの濃度が増加し、地球温暖化が進んでいます。青い海と緑の大地、そして大気を守るために、節電で二酸化炭素を削減しましょう。

節電は、一人ではなかなかやる気が起きない。何をすれば良いかわからない。やり始めたけど途中で挫折してしまった。など・・・。二酸化炭素を削減するためには、ちつぽけでも一人ひとりが取り組みを継続していくことが必要ですが、ダイエットと同じで、なかなかうまくはいかないようです。

そこで、節電に取り組む人にインタビューしました。皆さんも参考にしてみてください。

Interview

平尾中南 清原 郁美さん

Q 節電のきっかけは？

Aよその家より電気代が高いと知り、社会的な省エネという流れも受け、何かをしないといけないという気持ちでチャレンジしました。

Q 節電でどんな効果がありましたか？

Aこれまで、テレビは見ていなくてもつけっぱなしでした。ニュースなど見る時間を決め、同じニュースを何度も見

ないようにしたら、テレビをあまり見なくなりました。「やればできる」ということが分かりました。ほかにエアコンや除湿機などの節約で、これまでの電気代が約半分になりました。

Q おすすめの節約法は？

A毎日、メーターをチエツクしています。メーター数を確認することで、一日の使用量が分かります。メーターが

上った日は、何が原因なのか究明できます。領収書を毎月見比べ、使用量が減っていくのが楽しみになりました。

Q 節約法で感じたことは？

A無理や我慢をしすぎないことです。こまめに消す心が身につけば、節約できるものにつきます。今の生活を変えることは難しいですが、不便なことに慣れることが必要。家族の協力も大切です。

分別法の紹介

あきびんはルールを守ってきちんと出そう

あきびんは、細かく砕かれて再びガラスびんとして生まれ変わります。しかし、異物が混ざっていると、新しくつくるびんの強度が低下します。リサイクルに出すときには、異物をいっしょに混ぜないでください。

- ① 3種類に分ける
- ※飲料用と化粧品のみが対象
 - ・茶色びん
 - ・無色透明びん
 - ・その他の色びん



- ② キャップをはずさず
- キャップは「燃えるごみ」「燃えないごみ」「プラスチック類」に分ける



- ③ 中を水ですすぐ
- 中身が残っているとリサイクルの工程で不衛生。ラベルは、はがさなくて良い



- 燃えないごみへ
- ナベ・皿などの耐熱ガラス製品や茶碗・湯のみなどの陶磁器類、コップなどのガラス製食器、油びん、農薬びん、割れた蛍光灯・電球などは、混ぜずに燃えないごみへ出す



- 廃品回収へ
- 焼酎やビールびんなどはPTAの廃品回収に協力を。廃品回収が無い集落は、生きびんとして出す

